



刺繍やプリントで自分だけのユニフォームを作ませんか？！

刺繍やプリントをお願いしている会社のひとつ、行ってきました。昭和52年にネーム刺繍店としてスポーツマーキングなどもされています。今回はした。



仕上がりに定評のあるマズダネームさんへ創業し、現在では転写・昇華プリントや刺繍について植本さんと酒本さんに聞きました。



お正月に成年ワカ子ちゃんを作って下さりありがとうございました。とってもかわいくて全て刺繍だなんてビックリしました！いつもきれいな仕上がりですが、その秘密はマシンにあるんですか？



酒本さん

刺繍屋さんでよく使われている一般的なコンピューターマシンを使っています。仕上がりの差はパンチングというデータ作成と、経験にあると思います。専用ソフトを使って、糸の方向・縫い目の種類・針の移動パターンなどを指定します。それらの組み合わせによって光沢の出方やイメージが変わるため、とても重要です。また、実際に刺繍を入れる段階でも生地

の性質によって補強をしたり、枠はめの強弱を調整したりと、ここも経験ですね。全てがうまくいってこそきれいな仕上がりになるんですよ。

お客様のイメージ通りに、きれいに仕上げたいと日々工夫をしています。



ドイツ製のマシン。50年以上経った今でも現役です。



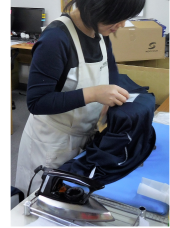
コンピューターマシンでも仕上がりを決めるのは人の手なんです。ところで、左のマシンはなんですか？



植本さん

「横振りマシン」だよ。現在では主流なコンピューターマシンですが、弊社では先駆けて20年ほど前に導入しました。それまでは横振りマシンで職人さんが一つ一つ手作業で入れていたんですよ。膝のレバーを動かして太さを調整しながら、運針ペダルを踏んで縫います。なるべく継ぎ目や、筆運びに無駄の出ないように一筆書きをします。一人前になるためには最低でも10年はかかるんじゃないかな。

現在、弊社では職人は私入れて2人だけですが、今でも風合いがいいと希望されるお客様もいらっしゃるんですよ。



柔らかい生地には裏に補強をつけます。補強材の選択や数は経験だそうです。

刺繍ワカ子ちゃんの下に名前を入れてもらいました。下書きもなくスラスラとあっという間でした。

今月のWAKABA人



南 初男 (みなみ はつお)
取締役会長
昭和50年28才で入社
昭和22年8月6日生まれ
獅子座 A型



自宅近くのログハウスにて。鉄1本で山を切り開き畑をつくり、花や野菜を育てています。お祭り前にはここで音頭の練習も。

■趣味は？

ゴルフ
異業種の友達づくりとして年間50回を目標にしています。

■特技は？

地域の盆踊りで音頭をとること
櫓の上で太鼓と一緒に音頭をとります。昨年デビューし、地域の夏祭りをまわりました。盆踊り保存会さんと一緒に活動しています。6番まである音頭は節回しが全て違い、お祭り前はしっかり練習しています。

■最近のマイブームは？

カラオケ
詩吟歴15年で鍛えた声でカラオケに熱中！
4月29日(日)にある地域のカラオケ大会には、得意の演歌で出場します。

■ワカバ営業時代の一番の思い出はなんですか？

高度成長期時代のホテルブライダルブーム、沖縄から北海道まで全国の有名ホテルにテーブルスカートをもって営業にまわったことです。また、サービス業の発祥地であるヨーロッパやアメリカで一流ホテル・一流店の視察をしたことは、学ぶことが多かったと今でも思います。

カーディガンキャンペーン実施中！

3月中旬まで！！
KAZENのカーディガンが40%OFF



レディス・メンズあわせて8品番が定価から40%OFFです。
189-各色・202-各色・203-11,19・205-各色・206-91・219-91・220-各色・200-91。
寒さはこれからです。この機会にいかがですか？

Information

RCCラジオに出演します！

『平成ラヂオバラエティ ごぜん様さま』

平成30年2月6日(火) 10:35頃から約3分

銀座店より電話インタビューで出演します！ぜひ聴いてください。3分間の生放送なので、ラジオのスイッチは早めにお願ひします♪

